

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年3月12日(2015.3.12)

【公開番号】特開2013-197812(P2013-197812A)

【公開日】平成25年9月30日(2013.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2013-053

【出願番号】特願2012-61970(P2012-61970)

【国際特許分類】

H 04 M	1/00	(2006.01)
H 04 Q	9/00	(2006.01)
H 04 W	92/08	(2009.01)
H 04 W	68/00	(2009.01)
H 04 B	1/40	(2015.01)
G 06 F	13/00	(2006.01)

【F I】

H 04 M	1/00	U
H 04 Q	9/00	3 0 1 E
H 04 Q	7/00	6 8 5
H 04 Q	7/00	5 2 0
H 04 B	1/40	
G 06 F	13/00	3 5 8 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電話通信部を備えた携帯電話機の制御部を、
 ユーザの操作を検出する操作検出手段、
 前記電話通信部に対する電話の着信を検出する着信検出手段、
再生音を出力するオーディオ機器と通信し、該オーディオ機器において選択されているオーディオソースの情報を取得する動作状態取得手段、および、

前記操作検出手段がユーザの操作を検出したとき、その操作に応じた制御内容のコマンドメッセージを前記オーディオ機器に対して送信し、前記着信検出手段が電話の着信を検出したとき、前記オーディオ機器に対して前記選択されているオーディオソースに応じて前記再生音を制御する内容のコマンドメッセージを送信するコマンド送信手段、

として機能させるオーディオ機器制御プログラム。

【請求項2】

前記着信検出手段は、前記電話の着信状態または通話状態が終了したことをさらに検出し、

前記コマンド送信手段は、前記着信検出手段が前記電話の着信状態または通話状態が終了したことを検出したとき、前記着信検出手段が電話の着信を検出したときとは逆の制御内容のコマンドメッセージを前記オーディオ機器に対して送信する

請求項1に記載のオーディオ機器制御プログラム。

【請求項3】

請求項 1 または請求項 2 に記載のオーディオ機器制御プログラムを記憶する記憶部と、電話通信を行う電話通信部と、前記記憶部に記憶されているプログラムを実行する制御部と、を備えた携帯電話機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の第 1 の側面によって提供されるオーディオ機器制御プログラムは、電話通信部を備えた携帯電話機の制御部を、ユーザの操作を検出する操作検出手段、前記電話通信部に対する電話の着信を検出する着信検出手段、再生音を出力するオーディオ機器と通信し、該オーディオ機器において選択されているオーディオソースの情報を取得する動作状態取得手段、および、前記操作検出手段がユーザの操作を検出したとき、その操作に応じた制御内容のコマンドメッセージを前記オーディオ機器に対して送信し、前記着信検出手段が電話の着信を検出したとき、前記オーディオ機器に対して前記選択されているオーディオソースに応じて前記再生音を制御する内容のコマンドメッセージを送信するコマンド送信手段、として機能させることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の第 2 の側面によって提供される携帯電話機は、上記オーディオ機器制御プログラムを記憶する記憶部と、電話通信を行う電話通信部と、前記記憶部に記憶されているプログラムを実行する制御部と、を備えたことを特徴とする。